

# JCMAにおける i-Construction推進体制について

平成28年度 「i-Construction施工による生産性向上推進本部」  
(第1回会合)

平成28年 5月 20日【金】

○ JCMAでは、これまで情報化施工の普及について先導的かつ積極的に取り組んできた。

○ 国土交通省のi-Construction推進組織設置を踏まえて、情報化施工に関わる委員会活動を包括しi-Construction推進に向けてより力強い提言や情報発信等を目的とした組織を設置する。

「i-Construction施工による生産性向上推進本部」

○ 情報化施工委員会のWG活動について再編を行う。

# 各組織の役割

ICT普及に向けた提言・制度要望等

国土交通省

「i-Construction施工による生産性向上推進本部」

## 情報化施工委員会

・施工現場における情報化施工の諸課題への対応を  
とりまとめ

ICT活用戦略WG【新規】 注1

※生産性向上に向けた一層のICT活用を検討

i-Construction普及WG 【新規】 注2

※i-Constructionに対応した研修、講習カリキュラムを検討

規格検討WG 【継続】

※ISO15143(国際標準)に関する対応検討

定量的評価WG 【継続】

※情報化施工の効果検証

情報化施工普及促進委員会

人材育成(学校教育)

「情報化施工」に関する大学教育を目的

※講義用テキストのとりまとめ

# ICT活用戦略WG

- 建設施工現場のさらなる生産性向上のために「ICTの全面的な活用」が必要である

## 例として

i-Constructionの適用範囲を、土工以外の工種に広げることや  
レーザスキャナ(LS)・UAV写真測量以外の測定手法・技術も活用など。

- 建設施工現場での一層のICT活用に向けて以下を検討・とりまとめを行う。

制度・基準に関する提案・提言・要請

※ 必要に応じ分野毎サブWGを設け作業を行う。

# i-Construction普及WG

- 喫緊の課題として、平成28年度から国土交通省発注工事において推進される「i-Construction型工事(ICT土工)」に対応できる技術者の育成がある。
  - 講習会は全国規模開催される予定であり、その講習にあたっては一定の水準をクリアすることが必要である。
  - 講習会ではJCMA会員により開催されるものも想定される

講義内容の JCMA標準案をとりまとめその普及を行う。【JCMA認定】

『i-Construction講習の標準カリキュラム』

『i-Construction講習の標準テキスト』

※ 必要に応じ分野毎サブWGを設け作業を行う。